



市議会ホームページ
QRコード

平成29年度決算議案を全て認定

平成30年第3回定例会を、8月31日から10月1日までの32日間の会期で開催

- 24名の議員が一般質問を行い、市長等と議論 (3～8頁)
- 各会派が、一般会計決算議案に対する賛成・反対の討論 (9頁)
- 市長提出議案30件、議員提出議案1件を議決 (結果は10頁)



国立駅北口の光町通りに位置する光商店会では、通りの一部を地域にゆかりのある新幹線にちなみ、新幹線通りと名付け、地域活性化のための試みを始めました。

この新幹線試験電車951形は、昭和44年に製造され、当時の世界記録である時速286キロを出した車両で、(公財)鉄道総合技術研究所から無償譲渡されました。

新幹線資料館(ひかりプラザ内)[光町1-46-8]

議員定数削減に関する議案を 賛成多数で可決(24人→22人)



(全員協議会の様子)

議員定数のあり方について協議・調整を行うため、議員全員で構成される「全員協議会」を9月6日に開催しました。

その後、議員提出議案第1号「国分寺市議会議員定数条例の一部を改正する条例について」が提出され、9月13日に本会議で審議され賛成多数で可決となりました。

(関連は2頁)

シリーズ 国分寺市議会⑦

国分寺市議会 災害対応規程は

国分寺市議会では、市内において大規模災害が発生した場合の議会及び議員の対応等を定めた「国分寺市議会災害対応規程」および「国分寺市議会災害対応マニュアル」を平成28年11月に制定しました。

また、平成30年5月には、更なる防災意識の向上と技術の取得を目指し、当該規程等に基づく訓練を実施しています。

大規模災害発生時に各議員は被災状況等の情報収集に努め、適切な情報を市民へ伝達するなど、市の災害対策活動を支援し、市民生活の早期安定・復旧に向けて取り組んでまいります。

このたび「平成30年7月豪雨」及び「平成30年北海道胆振東部地震」により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。
犠牲になられた方々のご遺族の皆様に謹んでお悔やみを申し上げます。
被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

東京都国分寺市議会

主な議案の審査状況

平成29年度一般会計決算 及び全特別会計決算 認定

市議会は、決算議案審査にて前年度の予算執行状況やその効果の評価を行い、翌年度以降の健全な行財政運営に資する審査を行っています。

【特別委員会の設置】

平成29年度の一般会計及び7特別会計の決算議案の審査は、決算特別委員会（高瀬かおる委員長、尾澤しゅう副委員長。議長と議員選出監査委員を除く22人で構成）を設置し、9月21日と25日、26日の3日間審査を行いました。

【説明】

平成29年度決算は、一般会計では実質収支額13億4,998万3千円の黒字で、前年度実質収支額を差引いた単年度収支額は4億9,249万3千円の黒字。7特別会計総計の実質収支額は8億1,708万2千円の黒字となりました。一方、経常収支比率は前年度から1.7ポイント悪化し94.6%となりました。市は（仮称）リサイクルセンター建設、保育所の整備等多額の財源

を必要とする事業等を今後控え、市税収入の伸び悩みの傾向等もあり、厳しい財政状況であるとの説明がありました。

【主な質疑】

『決算の概要』では「市の財政は、厳しい状況から抜け出しているのではないか」「市民ニーズに応えながらも長期的な視点をもった財政運営が必要」等の質疑がありました。

『歳入』では「観光案内掲示板のクラウドファンディングを活用しての設置について取り組みの総括を」等の質疑がありました。

『人件費』では「女性職員の人事登用や職場環境の整備について評価する。30年度も進めてほしい」等の質疑がありました。

『歳出』では「委託事業者の原因で契約履行期間内に魅力発信リーフレットが納品されず市に契約違約金が支払われている。十分注意して進行管理を」「生活基盤として必要な住まいが整備されること等が地域包括ケアシステム的前提。高齢で低所得の方の住宅確保について早急な検討を」「ひとり親家庭のアンケート集計が遅れている。速やかに集計結果を示せ」「他市状況も確認しながら増加し

た保育所待機児童の原因分析を」「生活保護受給者への後発医薬品の普及率向上に向け成果が上がっていることを評価する」「商店街の活性化に役立つ装飾街路灯のLED化がより進むよう対応を」等の質疑の後に総括質疑では「29年度会計で支払うべきものが失念により30年度会計から支払われており会計年度独立の原則から認められる行為でない、と監査委員の意見書で指摘されている支出がある」との質疑に対し、市長から「指摘は真摯に受けとめて緊張感をもって事務執行にあたるよう庁内徹底を図る」との答弁がありました。

【委員会での採決】

質疑の後、採決を行った結果、一般会計決算と4特別会計決算は賛成多数で、3特別会計決算は全員賛成ですべて「認定」と決しました。

【本会議での採決】

一般会計決算に対して反対・賛成の討論が行われ、委員会と同様の結果となりました。また特別会計決算の採決においても委員会と同様の結果となりました。

議員定数削減条例 可決

「議員定数のあり方について」をテーマに、9月6日に全員協議会が開かれ、意見交換がされました。その後、12日に議員定数を24人から2人削減し、22人とする条例案が提出され、13日の本会議で審議されました。

【全員協議会での主な意見や質疑】

「社会情勢に合わせ、定数を見直しており、10年以上経過している。ここで見直すべき」「定数が少なければよいというものではない。市民の多様な意見を行政に伝える役割がある」「三大都市圏における類似団体の議員1人当たりの人口から算出した適切な定数が22人である」「財政規模や行政事務の比較検討はしたのか」など意見交換をしました。

【本会議での主な質疑】

「市民には本議案の情報が共有されていないのでは」「議会改革の1つとして、議会自

らが決断して提案している」「削減することによる効果やその意義・必要性は」「定数減により、当選がより難しくなれば、各自が切磋琢磨し、チェック機能や政策立案機能など質の向上につながる」「チェック機能が低下するのでは」「過去の定数削減の際、その機能は低下していない。各議員の質の向上により果たされる」「定数に関する市民の声は」「平成27年8月の市民意向調査報告書で、定数を削減すべきとの声がある」「市民の政治に対する不信感について」「議会改革の中で、議員自身が向き合うことが大事」「定数を減らすことは、市民のための議席を減らすこと、市民の主権をそぐことではないか」「投票権を制限するものではない。定数の適正化で、創意工夫が生まれる」等の質疑がありました。

【討論】

質疑の後、反対討論では、「議員は選挙に関係なく常に質の向上に努めるべき。市民の代弁者である議員は多い方が民意を反映でき、市民自治を拡げることになる」「数値の

合理的根拠が乏しい。市民の意見を十分に聞くべき」「市民の議席を市民の意見を聞かずに削減する暴挙。『削減で質の向上』は根拠がなく少数意見の切り捨てになる」「削減の必要性、政策妥当性等の説明がなく、市の状況も多角的な検証等がなされておらず、チェック機能の低下が懸念される」との討論があり、賛成討論では、「市民の声を踏まえ、議員自らが定数を考えた。社会状況の変化や政治不信等の状況も鑑み、市民の信頼を得る努力を続けたい」「適正な数字であり、チェック機能の低下への懸念は、議会改革を進めることで市民の信託に応えたい」「政治不信に対し、身を切る決断であり、提案会派には特に率先垂範で議会の質の向上に努めていただきたい。市民や第三者の意見を聞くなど、慎重な議論が必要との課題は残るが、趣旨に賛同する」「削減する方向性に賛同し、改革に取り組みたい」などの討論がありました。

【採決】 討論の後、採決を行った結果、賛成多数で可決しました。

閉会中の委員会等

委員会はどなたでも傍聴できます

第3回定例会終了後、平成30年第4回定例会までの間に開催する委員会等は下記のとおりです。

- 10月3日（水） 議会改革検討委員会
- 10月18日（木） 代表者会議／議会運営委員会
- 10月24日（水） 公共施設等総合管理特別委員会
- 10月29日（月） 国分寺駅周辺整備特別委員会
- 10月30日（火） 総務委員会
- 10月31日（水） 文教子ども委員会
- 11月5日（月） 建設環境委員会
- 11月6日（火） 議会改革検討委員会
- 11月8日（木） 厚生委員会
- 11月27日（火） 代表者会議／議会運営委員会

市役所第1庁舎3階委員会室で午前9時30分から開催します。詳しくは、市議会ホームページをご参照ください。

映像配信について

平成30年第3回定例会の本会議で行われた一般質問と議案審議、決算特別委員会の議案審査の様子が市議会のホームページからご覧になれます。また、次回第4回定例会の一般質問と議案審議のライブ中継・録画配信も行います。ぜひご利用ください。



議会の動画配信ページ QRコード

スマートフォン等で読み取るとサイトにアクセスできます！

第3回定例会陳情の審議結果

第3回定例会では陳情12件が審議され、継続8件、不採択3件、取り下げ1件となりました。

《継続となった陳情》

- 陳情第29-2号 西国分寺駅東口開設を求める陳情
- 陳情第29-3号 新市庁舎建設に関する文化施設の併設についての陳情
- 陳情第29-5号 「日本軍「慰安婦」問題に関する意見書」の見直しを求める陳情
- 陳情第29-6号 西国分寺駅東口恋ヶ窪側乗降口の開設を求める陳情
- 陳情第29-13号 国分寺障害者団体連絡協議会の活動拠点を確保し提供することに関する陳情
- 陳情第30-1号 国民健康保険税の引き下げを求める陳情
- 陳情第30-2号 同性パートナーシップの公的承認に関する陳情
- 陳情第30-3号 国分寺市内にドッグランの設置を求める陳情

《不採択となった陳情》

- 陳情第29-9号 東京都に、第32回オリンピック競技大会（2020/東京）の開会式に競技施設等の工事従事者の入場行進を求める等の意見書提出を求める陳情
- 陳情第29-10号 日本政府に核兵器禁止条約への調印を求める意見書の提出を求める陳情
- 陳情第29-12号 日本政府に核兵器禁止条約への調印を求める意見書の提出を求める陳情

《取り下げとなった陳情》

- 陳情第29-8号 東京都立武蔵国分寺公園または隣接する公有地へのドッグラン設置についての意見書提出を求める陳情

議員の辞職について

下記のとおり議員の辞職がありました。

| | |
|-----|------------|
| 議員名 | なおの克（公明党） |
| 辞職日 | 平成30年10月4日 |

請願・陳情の提出について

市民の皆様への行政等に対するご要望は、請願・陳情として市議会に提出できます。

請願・陳情はいつでも提出できますが、平成30年第4回定例会（11月29日開会予定）からの審議を希望する方は、11月9日（金）までに直接議会事務局へお持ちください。

請願・陳情を提出するにあたり、署名簿を添付される場合は、必ず【注意事項】を記載してください。

書式例を市議会ホームページにも掲載していますのでご確認ください。詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。

市政を
問

平成30年 第3回定例会 一般質問の質問事項・答弁の要旨

一般質問を行った議員の順番で、各議員が一定のスペースで自由にまとめたものを掲載しています。

史跡・文化財は保存整備⇒活用を模索せよ !!

自民党新政会 吉田 りゅうじ



▼2020東京五輪に向けた国分寺市の取組み

【吉田】 マスコット小学生投票が終了しマスコットが決まった。授業の様子や教師の感想は？

【答】 予想以上に児童が興味・関心を示し、真剣に選んでいた。マスコット選定にあたっては教師が主導でなく児童たち自身に考えて貰ったことで児童たちの大きな成長に繋がったと思う。

【吉田】 オリンピック・パラリンピック合わせて、100万人規模の学校連携観戦チケットを用意すること。教育委員会はアンテナをより高くして、チケット情報には敏感に反応し子どもたちの観戦機会を増やして戴きたい。

▼けやき運動場と関連施設の整備について

【吉田】 人工芝化と周辺関連施設の動向を問う。

【答】 グラウンドに盛土して高さを周囲と合わせ、全ての出入口をバリアフリー化する。また、倉庫やダグアウト等も実施設計に反映、ランニングコースを含む通路全体をアスファルト舗装し平成31年3月に利用を再開する予定。

▼人材育成と業務改善提案について

【吉田】 日常から問題意識を持って仕事をしていないと改善意欲は生まれにくい。よって、人材育成に業務改善提案制度はたいへん有効と考える。成果と今後CSマイスター制度の考えは？

【答】 今年度から1次審査を書類審査、2次審査として提案者によるプレゼンテーション審査

を追加した。書面から読み取れない点も確認出来、実現性の高い提案を採用・趣旨採用できる。CSマイスター制度は研究する。

▼史跡・文化財の保存整備と活用について

【吉田】 文化財保護法が「保護と活用の両立」を主眼に改正された。おたかの道湧水園に限定し、その現状と活用に向けた問題と課題を示せ。

【答】 おたかの道湧水園内の建造物等の活用は平成22年度に策定した「保存活用計画」に基づき行う。旧本多家住宅長屋門については修復が完了、倉の活用は内部の公開を検討、池や西門などは整備し園内を回遊できるよう検討する。

【吉田】 市民活動を可とする方策も模索せよ。

液体ミルク導入など重厚な災害対策を求める

公明党 さの 久美子



1. 安全・安心のまちづくりについて

(1)ブロック塀等撤去工事助成制度をもっと市民ニーズに応じた制度へ拡充すべき。市) 交付助成額の上限額撤廃や上部一部撤去後フェンス等の新設も助成対象とする改正をしたい。市民説明会を開催し周知に努める。さの) ブロック塀等撤去後に生け垣造成に至らない課題の解決と手入れのしやすい樹種の提案を求めたい。市) 「造成後の手入れ、補助額」が課題。市民に情報提供、補助の上限撤廃を検討していきたい。(2)改訂版のハザードマップが配布されるがデータ更新されたか。生活安全・安心メールで配布告知ができないか。市) 来年1月1日号市報で

配布。今回は前のデータだが、更新されればその時点で改定したい。メール利用は検討したい。

(3)市総合防災訓練の広報が改善されたことを評価したい。福祉団体との訓練をどう考えるか。市) 市内全域にポスター掲示し、保育園幼稚園へも周知した。訓練方法の変更もあったが、大幅に参加者が増えた。同日に市内随所で防災訓練が行われるように各施設などに声かけしたい。

(4)乳児用液体ミルクを備蓄食糧に導入を。災害協定を活用し災害時調達を可能に！市) 協定の活用は備蓄より有効。協議し、体制整備したい。

2. 都市農業の振興について

地場野菜供給や防災空間機能のある都市農地だ

が、生産緑地の2022年問題がある。農地保全のために今後どう取り組むか。市) 1992年に指定した生産緑地が2022年に一斉解除となる。「特定生産緑地」の指定の準備中。説明会、懇談会の開催、J Aや農業委員会と連携して周知する。

3. 嘱託職員処遇改善についてどう検討したか。市) 平成32年度導入の会計年度任用職員について、庁内検討委員会で制度設計に向けて検討中。

4. 認知症対策については、避難所でも適切なケアをするために支援ガイドの活用と福祉関係者との訓練が必要。認知症サポーターの役割は重要、団体等に受講の呼びかけを。市) 重要性は認識している。積極的に働きかけをしたい。

まちづくり条例の見直しについての考えは

自民党新政会 須崎 宏



問) まちづくり条例の見直しについて伺う。

副市長) 持続発展のためのまちづくりには、適時社会背景を十分反映した見直しが必要であると考える。まちづくり条例の見直しに関しては、重要な施策と捉えてしっかりと進めてまいります。

問) 史跡公園整備について追加指定と環境整備は。教育部長) 追加指定については、地権者の御意向も伺い東京都文化庁の意見も参考に今後寺域の件も含めて中身を詰めていく予定。環境整備についてトイレの整備は当然今後取り組んでいく課題と認識しているが、史跡地ということもあり可能なかぎり前向きに取り組んでいきます。問) 泉町都有地の公有化について伺う。

副市長) 泉町都有地はJRの徒歩圏内しかも一定の一団の土地を要して最有力庁舎建設用地と考えている。今後市民の意見を聴き進めていく。

問) ポップのもり保育園跡の対応について伺う。部長) 都の許可の手続きを行った後、公園来園者の少ない12月取り壊し工事を考えている。又今後有効活用についてあらゆる角度から可能性を考える。

問) プレイステーションについて今後の対応は。教育部長) 市の拠点として安定した運営が出来る形で移転についても検討を進めていきます。

問) こくベジと赤米の今後の対応について伺う。部長) こくベジについては、来年度から商工会、

J A農業者、観光協会などが主体となって継続して取り組みを進めていく考えです。

問) 赤米について史跡指定地内で御寄附を頂いた農地での生産を学校・協力団体等で進めては。

市長) 現在農地として使われている土地を検討する。

問) 通学路の安全対策でブロック塀等の対応は。教育部長) 小学校2校については既に工事完了。

部長) 公共施設の今後は点検結果に基づき改修改善等の対応をする。

問) 個人所有のものの無料点検については。部長) 今後は何らかの形で検討していきます。

問) 国3・4・11号線の進捗状況については。部長) 今年度中事業認可できるよう要望していく。

ひかりスポセンに空調を&在宅育児も支援を

国分寺政策市民フォーラム だて 淳一郎



ひかりスポーツセンターにもエアコン設置を

だて) 今夏の異常な暑さの中、ひかりスポーツセンターにも空調をという声が大変多かった。市民が安全、快適に運動するため、ひかりスポーツセンターにも空調設置を求める。

市) 空調設置の必要性は認識している。設置方法やコストなどについて、計画的な検討が必要。だて) 来夏に向けて、空調の代替設備の充実を取り急ぎ行うことを要請する。

市) 冷風機などの増設について検討を進める。

児童虐待防止に向けた更なる対策を!

だて) 3月に起きた目黒区での虐待事件を受けて、警察・児相・自治体等の情報共有が大きな

課題となっているが当市における対応は。

市) 7月に小金井警察署と児童虐待防止に関する協定を結び、情報の連携を強化するとともに、居住実態の調査など警察の協力を得ながら行う事で早期発見につなげる事が期待できる。

だて) 国や東京都も対策を積極的に進めている。国分寺市においても、迅速な対応を求める。

子育て施策もバランス感を~在宅育児支援~

だて) 核家族化が進む中、在宅で育児を行う際は24時間365日体制になってしまう場合が多い。保護者も息を抜かず、育児ストレスから虐待につながるケースが少なくない。一時保育の拡充など、在宅育児への支援拡大を求める。

市) 市としても在宅育児世帯への支援は進めているが、待機児童対策として保育所整備に注力しているのが現状である。

だて) 保育所整備は当然進めて欲しいが、税金の額を見ると、ケタ違いの金額が保育所関係には使われている。在宅育児にももう少しバランス感を持って支援を行うよう強く要望する。

認知症対策~おれんじCafeについて~

だて) 市内2か所のおれんじCafe(認知症カフェ)だが事業の趣旨である当事者の方やそのご家族の参加が少ないと聞く。対策は。

市) 決まった会場に来てもらうだけでなく、今後は各地域に出向いての開催も検討する。

301区画の活用と市民活動センターについて

301区画の活用と市民活動センターについて

新海 北口再開発ビルの東街区3階301区画の活用方法はどのようになるのか。

市民生活部長 移転を予定している市民活動センターに新たな機能を加えて、自治会、商店会等の団体の活動支援、サポートも考えている。

新海 市民活動の推進や団体の組織強化を支援して、多様な分野での参加や協働が推進できる施策が求められている。具体的な推進方法は。

市民生活部長 市民活動団体への講座や研修の開催等の人材育成、団体運営や法人化等の相談支援、コーディネーターの派遣、財政支援に対する情報提供、団体同士の交流促進等を予定。

北口再開発東街区店舗の看板について

新海 国分寺駅周辺での買物客を増やしたい。北口自転車駐車場の鉄道側の側面を利用して東街区の店舗の看板は付けられないか。

まちづくり部長 有効なご意見であり、現時点行政財産使用許可の方向で進めていきたい。

閉館中の民俗資料室の民間による管理について
新海 本多五丁目にある民俗資料室が長期間閉館している。貴重な資料があり、また会議室などで利用する場所もある。この管理を老人会等にまかせて開館することはできないのか。

教育部長 民具、古文書、調査書等、多くの収蔵があり、ご利用のスペースの確保は難しい。

自民党新政会 新海 栄一



新海 民俗資料室に限らずこの施設も資料で一杯であり、今後も増え続ける。解決策は郷土博物館の建設しかないが、資金的に苦しい。そこで史跡近くの施設を博物館に改修できないか。

教育部長 新たなご提案であり、現在使用されている施設です。ご趣旨は主管課に伝えます。

暴風による倒木の危険性について

新海 異常気象で暴風が吹き荒れ、ブロック塀の他、街路樹や古木が倒れるケースが各地から報告されている。国分寺市としての対策は。

建設環境部長 街路樹の数は約1200本あり、目視による確認、樹木医による診断等年間管理をしている。倒木の危険があるものは伐採を行う。

待機児童解消のために小規模保育所の建設を

国分寺政策市民フォーラム 及川 妙子



1. 西国分寺駅南口駅前通りの道路照明灯の調査結果について→2基が絶縁不良でLEDをつけ、分電盤は腐食していたので9月に修理する。そのことを市民に周知してほしい。

2. 7/18に多喜窪公会堂の先で人身事故があり商店街の装飾街路灯が消えていた。なおったのが8/31だがどうしてこんなに時間がかかったのか?→主催イベントの準備とお盆が重なった。

3. 災害情報について=7/27台風12号の時に近隣市では注意報をうけて注意喚起のHP、ツイッター、メールをしていたが当市はしていなかった。警報がでないと市民への発信をしないのは対応が遅いのではないかと→他市の基準も参

考にしたい。

4. 待機児童について=7/30の東京都の発表で当市は増加数110名で断トツ1位だった。分析は?→未就学児の人口、申し込み者、H28・29年度のゼロ歳児の人口が多かったため。

待機児童の分析をきちんとやってほしい。分析しないと対策は立てられない。→育休中の人を分析、分類して対応していきたい。

国立市と小平市の小規模保育所を視察した。当市もつくるべきではないかと→現実としては相談がきていない。認定こども園も予定はない。今後の保育所の計画は?→今年度、来年度開所予定と定員変更で213名の定員増になる。

待機児童はどのくらい減るのか?→推計は困難。

5. 職員について=新卒採用は29歳まで。経験者採用は土木・建築が43歳まで、保健師は34歳まで。経験者採用について管理職を採用している自治体もあるので当市ももう少し増やすべきではないか。管理職の勤務時間を把握して働きすぎを是正すべきだ。障がい者採用について当市では法定雇用率を守っている。

6. 国分寺駅北口本町二丁目交差点の駐車場の満空表示の緑色が信号機とまぎらわしいので工夫をしてほしい。→カバーをつけて減光する。

7. 国分寺駅北口階段の中央に手すりを、南口階段は両端に手すりをつけてほしい。

愛する国分寺！日本一のまちづくりを！

公明党 なおの 克



●子育て支援施策について

問 子育て支援パスポート事業等、市全体で、子育て支援の輪を広げていく取り組みが重要だ。

市 事業の実施は、市の財政面においても一定のメリットがあり、活用する余地が非常にある。

●高齢者支援・福祉施策について

問 特定健診、がん検診の受診率向上に向けて、ニーズ調査をし、子どもの一時預かりや問診のプライバシー保護等、課題解決すべきだ。

市 託児を試行的に実施させて頂いた。今後も受診しやすい環境整備に向け、検討したい。

問 健診予約について、ハガキだけでなく、Web予約システムの導入を求めたいが如何か。

市 10月からの導入に向けて、準備したい。

問 新規事業の脳ドック検診について、順調にスタートしている。更なる周知を求めたい。

市 脳血管疾患系の早期発見や予防として、非常に効果がある。さらに周知に努めていく。

問 移動支援事業のヘルパー不足については、非常に切実な問題だ。改善をして頂きたい。

市 当事者や保護者にとって切実な問題である。担い手確保に向け、実施して取り組みたい。

●市の魅力発信及び、まちづくりについて

問 災害、観光の視点でドローン活用が各自治体で進められている。当市でも準備を求めたい。

市 今後の利活用について、検討して参りたい。

問 シェアサイクルについて、検討経過は如何か。

市 遅くとも年度内実施に向けて進めている。

問 国分寺駅北口再開発ビル及び周辺地区について、案内板や誘導サインの設置を求めたい。

市 交通広場の整備に合わせて、複合的に案内サインを複数設置していく。

問 再開発ビルのタバコの臭いの苦情について、市の対応を求めたい。

市 強化して、効果ある対策を講じて参りたい。

●ブロック塀等の安全性確保の推進について
問 今後、ブロック塀等の通学路の安全対策を強く求めたい。

市 撤去費用等、総合的に検討し対応したい。

迅速な情報提供・注意喚起で詐欺被害根絶を

公明党 高橋 りょう子



(1) 高齢者肺炎球菌ワクチン受診率アップを死因第3位の肺炎予防が期待される肺炎球菌ワクチン。国の定期接種経過措置期間が30年度末をもって終了し31年度からは毎年新たに65歳になった方のみ対象となる。重篤化・集団感染拡大防止の為に未接種者への更なる周知を求める。

市 今年4月接種券、予防接種の通知もしたが最終年度でもあり更なる周知・勧奨に取り組む。

(2) フレイル予防展開の取り組みを

筋肉の減少、人との交流が減る事で起こるフレイル。栄養や運動と共に社会参加は介護となる前の健康状態を保持増進する。予防の取り組みを。
市 集いへのお誘いは参加者から事業の楽しさ

や実感を語って頂く事等、自身の介護予防には担い手として事業にご参加頂く事も有効と考える。市民同士の声掛け協力について検討したい。

(3) 児童虐待防止体制整備について

目黒区の児童虐待死事件報道に誰もが心を痛めスピード感を持った対応が望まれる。国より乳幼児健診未受診者、未就園児、不就学児等の実態把握調査の緊急提言が発表され期待が。未来の宝・子供達の命を守る取り組みに全力を。

市 国・東京都、庁内関係各課と横断的に連携、実態を把握しスピード感を持って対応していく。

(4) 市オリジナル婚姻届受理証明について

婚姻届は他市の市民や一時進学や就職で離れた

方でも申請できる。行政として人生の門出結婚を祝し、思い出に残るよう見守り最大の応援を。

市 大変好評で行政として記念に残る結婚支援と共に町の魅力発信の一つと考え取り組みたい。

(5) 消費者被害対策・地域との連携について
この夏「契約不履行」等との文章で不安をおおる詐欺葉書が市内全域に郵送された。市民が騙されないようスピード感を持った注意喚起を。

市 公共施設への注意喚起ポスター・チラシの配架、青色回転灯車両出勤、諸会合の席上で声掛けする等地域と連携し被害防止に努める。

その他 ①公共施設利用の運用について

②風疹から妊婦・胎児を守る予防接種の推進を。

健康寿命延ばし、暮らしと財政の活力アップ

国分寺政策市民フォーラム 星 いつろう



☆65歳になったらパンフレットの配布を

星)「高齢者自立支援住宅改修」を活用して、自宅の階段に手すりを取り付けた方にお話を伺った。「階段から落ちて寝たきりにでもなったら大変」とのアドバイスを受けての対応。「事故防止に有効」と喜んでいらっしゃる。同時に「対象年齢になっていただお経つが、制度を知らなかった。65歳になった人には、こうした制度を紹介するパンフレットを配布してほしい」との要望をお伺いした。

市) PRは重要。費用対効果を含めて研究したい。

星) 財政を気にかけていらっしゃる高齢者の方々は少なくない。「私が健康であり続けられ

る市の医療や介護費を節約できるでしょ」とおっしゃる。制度の周知と有効活用により健康寿命を延ばし、重度化を防ぐ。こうした費用対効果の観点から検討をお願いしたい。

☆学童保育所4年生以降の受け入れを

星) 働く保護者のみなさんからご要望をいただいている。まずは、三季休業中だけでも学校の教室を使って4年生以降の受け入れを行っていただきたい。

市) 備品の設置など基準があり、なおかつ、学校に空き教室がない。現状では難しい。

星) 保護者へのニーズ調査を実施し、「すぐに行うこと、やるべきこと」「長期的課題とな

ること」を市として精査していただきたい。

市) 調査を今年度行っていく。

☆保育所職員「処遇改善対策」の効果検証を

星) 市が行っている保育所の職員に対する処遇改善策の効果はどのように表れているのか。年収や定着率の変化など、市が把握している具体的事例で説明をお願いしたい。

市) 実際にどのように賃金として改善されたのかの把握が困難で、数字で示すことは難しい。

星) その答弁では不十分と考える。保育施策には多額の税金を使っている。待機児童対策の拡充を求める立場だからこそ、税金を投入した効果の検証を今後も求めていく。

子どもの人権をまもる 救済のしくみづくりを

国分寺・生活者ネットワーク 岩永 康代



■多様なニーズに対応できる保育施策の拡充

岩永) 国でも雇用関係に頼らない働き方をすすめていることから、多様化する働き方に合わせて保育施策の拡充が必須。自営業者やフリーランスは産休・育休制度が無い中で、子育てと仕事の両立が難しい現状があるため、入所基準を見直す必要がある。答) 検討委員会でも検討中。岩永) 一時保育の質の確保に不可欠な専任保育士配置の費用助成等、補助規則の見直しと計画的な拡充を。利用者に分かりやすい情報提供を。答) アンケート調査でもニーズ量を把握し、事業計画に位置付けをすすめる。情報提供のあり方も検討する。

■子どもの救済のしくみ 岩永) 子どもを取り巻

く問題が複雑化、深刻化している。国立市の「子どもの人権オンブズマン」や、世田谷区の子どもの人権擁護機関「せたホッと」のように、子どもに寄り添い、子どものエンパワメントを支援する、子どもの救済のための公的第三者機関の設置を。答) 情報収集していきたい。

■障がい児福祉の所管 岩永) 障がいのある子どもや発達支援・医療的ケアの必要な子ども、みんな同じ地域の子どもととらえ、全ての子どもが共に成長できるよう、地域社会への参加や包容(インクルージョン)を推進することが重要。障害児福祉計画を子どもの総合計画の下に位置付ける町田市取り組みを参考に、障がい

児福祉に関する事業を子ども施策としてとらえ、子ども家庭部で所管する検討を。答) 研究する。

■減農薬の取り組みと有機農業の推進 岩永

減農薬や有機農業を応援する具体的な取り組みは? 答) 東京都エコ農産物認証制度の周知など。岩永) 農薬や除草剤について、市民への啓発も重要。野生のミツバチの大量死などが報道されているネオニコチノイド系農薬について、2018年4月にEU常任委員会で屋外の作物への使用を全面禁止する規制案が承認され、年内にもEU全加盟国で施行される予定である。市でも農薬や除草剤の使用状況に関する実態把握や情報提供を。答) 関係各部とも連携して研究してみたい。

気候変動、プラごみ問題は足元から対策を!

国分寺・生活者ネットワーク 高瀬 かおる



◆ごみ問題について◆ (問) ペットボトルの収集体制の見直しは、拡大生産者責任の観点から販売店への店頭回収を基本に、現在の直営での拠点収集は中止し、4週に1回の戸別収集を導入してはどうか (答) 収集量が年々増加。総合的に判断する (問) 減量や分別には、市民や事業者の協力が不可欠。議論の場の設定を (答) 廃棄物の減量及び再利用推進審議会と連携する。◆緑の創出について◆ (問) (仮)公園・緑地整備計画の策定には、土地の確保の見通しが重要。生産緑地の2022年問題が迫っている。関係者への十分な意向調査を行い、現実味のある計画策定を! (答) 買い取り申し出がでる可能性

は否定できない。財政面の問題もある。関係部署と協議、検討する (問) 農地を農地として残すことは大前提。農業公園的な整備も検討を! (問) 生け垣助成の拡充に合わせて、樹木の管理が必要。剪定に必要な道具の使い方や枝の切り方など、実践で教えるしくみや相談体制を、市民農業大学等と連携して整備してはどうか? (答) JAや植木組合等への相談を視野に方法を探る。関係部署との連携を図り取り組んでいく。

◆自然エネルギーについて◆ (問) 長野県飯山市など友好関係にある都市と、自然エネルギー導入の可能性について協議してはどうか。東京都環境公社も地域間連携の技術支援を行っ

ている (答) 情報が少ないので調べてみたい。

◆家族介護者(ケアラー)支援について◆

(問) ヤングケアラーも含めた家族介護者本人を支えるために、必要な施策を検討する協議の場が必要だ (答) 新たに「相談支援総合調整会議」を設置し、健康部、福祉部、子ども家庭部が一体となって、総合的な相談支援業務を実施する。ヤングケアラー等についても対応を考える (問) 教育関係からの参加も必要だ (答) 子どもがいる世帯は、学校との連携は重要。適切に連携する (問) 地域では多様な見守り活動が行われている。横の連携を図り、家族介護者も支援する取り組みを求める (答) そうしたい。

魅力ある学校づくり、性の多様性、こくベジ

無党派(ここに幸あれ) 幸野 おさむ



幸野) ◆第四小学校の増築棟について◆対応が遅れビオトープを廃止する計画だが、最大の問題は、子ども達や保護者の声を聞かずに進めている事だ。当事者で学校の課題解決を考える教材になる。魅力ある学校づくりが必要だ。

部長) 魅力ある学校づくりは学校だけでできるものではない。ただ今回の件は、限られた条件と財源の中でやらざるを得ない×

幸野) ◆学童保育所も増設すべき◆ビオトープに建てるとしても、最低でも2階建てにすべき

部長) 学童保育所の設置は難しい。ただ児童数増加を考えた時に、早急な対応も必要と思う△

幸野) ◆不登校問題への対応について◆学校が

義務教育の施設として、映画「みんなの学校」のように全ての子ども達を受けとめるべき。

教育長) 大きな課題だが、全教職員は子ども達の為に全力を尽くしている。どこが足りないか、何ができるか、日々考え、実践していく△

幸野) 学校以外の受け皿として、フリースクールの誘致や特例校の設置等、真剣に議論すべき

教育長) 他市の動向も踏まえて、探っていく△

幸野) ◆性の多様性を保障する条例を◆国立駅前

の連携施設「くにたち男女平等参画ステーション」を視察。国立市は条例を制定して、事業展開しており、連携した取り組み・条例制定を

幸野) ◆障害者差別解消条例の制定を◆「生産性の有無」で差別される社会にすべきではない

部長) 条例の必要性について研究していく△

幸野) ◆こくベジの積極的な展開を◆こくベジの市内ネットワークを構築した。保育園や学校給食での積極的活用や、障がい者団体の喫茶店・パン製造、お菓子作り等の連携も展開しては

部長) 今後、様々な人々や企業、団体と連携し、

市内連携も密にしながら、一層広めていく○

幸野) ◆踏切を横断する動線の確保を◆本多3丁目～西武多摩湖線の横断、国分寺駅～西国分寺駅間の横断の確保について、提起しました。

○=前向き、△=含み答弁、×=冷たい答弁

未来への責任ある市政経営、防災減災対策等



公明党 木島 たかし

1・今後の市政経営について

木島) 市財政の現状を踏まえ、**将来への責任を持った市政経営の推進**を。

答) 今後、庁舎建設、仮称リサイクルセンター建設、保育待機児童解消、高齢化社会への対応等、多額の財源が必要。健全な運営を進める。

木島) 今後の**公共施設等マネジメントで将来の財政負担軽減のため**包括管理委託の取り組みを

答) 民間事業者と連携した取り組みを検討する

木島) **公会計改革**による業務別・施設別の財務書類を策定し、財政をわかりやすく示す努力を。

答) 全庁的に連携して検討を進めたい。

2・防災・減災対策について

木島) 豪雨時での野川周辺住民への避難行動の**基準や情報**が十分に伝わっていないのでは？

答) 市民への周知はまだ十分ではないと認識。

木島) 野川の現在の雨量・水位が分かる**東京都建設局のサイト**(国分寺市域は一里塚橋が観測ポイント)の周知を図るべき。

答) 市HPやハザードマップへの記載等、進める。

木島) 国分寺駅北口の交通広場(歩行者スペース)が完成した際、帰宅困難者対策等の観点からも災害時の位置付けを明確にするべき。

答) 待避場所の指定へ向けて検討する。

木島) 災害時の避難所生活で**エコノミークラス**症候群予防や健康の為に段ボールベッドが有効

民間企業との協定を結ぶべきではないか？

答) 重要と認識。速やかに取り組む。

3・西国分寺駅周辺の課題について

木島) 東側周辺まちづくりの**アンケート**を今後活かすために、市財政の課題と市全体の公共施設等マネジメントとの関係の整理が必要だ。

答) 関係部署と連携し適正に進めていきたい。

木島) 南口の武蔵野線ガード下付近の狭い歩道等の安全対策を講じるべき。

答) 現場の状況をさらに確認し検討したい。

4・交通安全対策について

木島) 国分寺街道の**緑色カラー舗装**の状況は？

答) 一部で塗装が必要。速やかに対応する。

防災も若者支援も地域での繋がりが大切

国分寺・生活者ネットワーク 秋本 あすか



◆緊急時の子育て支援策について秋本 急な子どもや保護者の病気、緊急を要する用事など、当日の朝に子どもを預けることができる支援策はあるか。答) 所定の手続きや子どもの状態確認等、事前の登録や申し込みが原則。空きがあれば当日対応が可能な場合もある。ファミリー・サポート・センター事業では援助会員の都合が合えば可能。秋本 ファミリー・サポート事業では、利用会員一人に対して援助会員を5人程つけることで、急な依頼にも応じている自治体もある。市でも当初から複数の援助会員とのマッチングを進め、緊急時の支援体制を強化できないか。答) 他市の利用状況を調査し事例を研究したい。

◆地区防災センターを中心にした防災訓練のあり方秋本 総合防災訓練の一環として行われた、地区防災センターへの避難訓練には、防災まちづくり推進地区をはじめ、地域の方が集う。この機会に、児童、生徒も参加し、地域の顔の見える関係づくりを。そのために学校との連携を求め、答) 地域の繋がりは大切、工夫検討する。学校との連携を研究する。秋本 センターである学校は重要な地域拠点だ。学校で行われる集いやまつりなどでも、防災の切り口で体験機会をつくり、地域の繋がりを深められるよう、教育との連携で取組み事例の提供や共有を。答) 防災の取組みには進んで協力したい。

◆若者支援について秋本 平成29年度に若者支援ネットワーク会議が立ち上がった。講演会に参加した支援者が地域で繋がる支援体制づくりが必要だ。家族支援の充実と、課題解決に向けて地域の支援団体との連携を。答) 地域の方と話し合い地域支援モデルを作りたい。家族相談会も実施する。地域団体と相談し会議への参加も検討したい。秋本 若者支援事業として、相談拠点整備と居場所づくりも課題である。居場所での交流から信頼関係を築き、相談に繋がる事例も多い。答) まずは相談に繋げることを意識している。整備の必要性は認識。相談実績等を検証し検討する。

深刻なプラスチックごみ使い捨てSTOP！

国分寺政策市民フォーラム 皆川 りうこ



●窓口対応大事・ハラスメントの無い職場環境皆) 窓口で机に足を乗せ居眠りの事例あり驚き。接遇等研修受けていないのでは？接遇マニュアルにある自己採点を実施せよ。窓口、接遇対応毎日確認出来るよう簡便な行動指針の作成を！答) マニュアル作成時より15年以上経過し見直す。自己採点実施、行動指針の作成も検討する。皆) ハラスメント処理委員会で取り扱っている事案はあるか？件数、内容など公表できるか？答) 指針に基づき処理委員会が開催された。回数等差し控えたい。※接遇、窓口対応マニュアル、ハラスメント指針のHPへの公表を今回も求めたものの、消極的な答弁に終わっています。

●介護保険制度の施設、「介護老人保健施設」皆) 市内2施設中、市が設立した(一財)国分寺市健康福祉サービス協会(以下サービス協会)は50床の老健である。稼働率や目標値は？答) 目標値は93%で現状85%で改善の余地ある。皆) サービス協会「あり方検討委員会」とは？目的課題は？メリット、デメリット等多角的な側面からも検討し、指定管理者制度の再構築を。答) 稼働率の低さは課題。目的として今後の運営の在り方等、今年度中に一定の結論を出す。委員会は識見6名、市の職員2名の8名以内で構成。適宜、所管委員会に報告していきたい。●H31～10年間の「国分寺市一般廃棄物処理基

本計画」ではプラスチック削減の視点も重要。皆) 3年から単年度に実施計画変更。市民にはいつ公表するか？答) 毎年4月1日に告示。数値確定は6月だが遅くとも決算時と考えている。皆) プラスチックは軽量で丈夫、便利な反面環境汚染も深刻。過去にも提案したプラ削減の一つ使い捨てレジ袋NO。マイバッグ運動キャンペーンを。答) 再度、啓発運動等実施していく。●歩道を塞ぐバス停、連雀通り「北の原住宅」皆) 石置型で正四角錐台の形態。バス停車時で雨天時等乗降客や歩行者も歩道に余裕なく危険。改善すべき。答) 都道だが安全性の観点からバス会社、東京都に危険な箇所の改善を要望する。

新たな1000万円の財源 子育て支援充実を

無党派(日本共産党国分寺市議団) 中山 こう



《子育て支援から国民健康保険税の軽減を》夫婦ともに45歳の家庭をモデル世帯として、所得階層と子どもの人数ごとの年間国保税額と(円)所得に対する負担割合(()内は%)
所得 子1 子2 子3
0 約4.4万 約5.6万 約6.8万
100万 約12万(12) 約14万(14) 約16万(16)
200万 約26万(13) 約26万(13) 約30万(15)
300万 約33万(11) 約37万(12) 約41万(14)
国保の場合、低所得で子どもが多いほど保険料負担が重い。他の医療保険では、負担は5～8%で、子どもが増えても保険料は変化しない。国保の子どもに関わる部分で、今年から市には

新たに約1000万円の財源が生まれている。
問) この財源を活用して、市として子どもを扶養している国保世帯の負担軽減を求め。
答) 制度上の課題として国が責任を持って対応すると考える。
* 国は実施の方針を持っていない。子育て支援は待ったなし。市として独自軽減を求める。
《健康で文化的な生活を保障する生活保護を》
問) 基準以下で生活されている方にとって、生活保護を受給することは権利と認識するか。
答) 生活保護の受給は権利だと認識している。
* 憲法25条「すべて国民は、健康で文化的な『最低限度の生活』を営む権利を有する」の

理念に基づいている。今、「最低限度の生活」水準が問題になっている。
問) 国は見直しで、生活保護基準以下で生活している方も含む最も低い所得階層と比較して生活保護費を減額した。これで「最低限度の生活」を保障すると言えるのか。
答) 市としても国と同じ立場。
* 生活保護世帯に接する市として「最低限度の生活」を保障する立場にたつことを求める。
モデル世帯(例) 年の減額
40代夫婦中学生2人 -205,200円
40代夫婦小学生・中学生 -182,880円
40代一人親中学生2人 -192,600円

国保税、道路建設の地権者対応、障害者支援

無会派(日本共産党国分寺市議団)

岡部 宏章



<国保税の大幅値上げ計画はストップを>

岡部：なぜこんな大幅な値上げの検討なのか。
 健康部長：一般会計からの法定外繰入れも赤字とみなされるようになり、赤字解消計画の策定が市として求められているため。(一方で)法定外繰入れをやめるべきとの法的根拠はない。
 岡部：では、市として法定外繰入れをやめるべきものと位置づける理由とは何なのか。
 健康部長：国保特別会計の財政収支が均衡することが重要である。
 岡部：加入者の負担の増大こそが解消されなければならない課題なのに、財政的な問題にすり替えられてしまっている。必要な繰入れを続け

れば値上げは必要ない。これまで毎年、法定外繰入れを行ってきたのはなぜだったのか。
 健康部長：実態として、せざるを得なかった。
 岡部：過去には、国保会計の繰入れというのは福祉的な要素があるんだという答弁がある。負担をかけず加入者の生活を守るためであり、そうしてこそ社会保障制度だ。
 <国3・4・12号線の地権者への対応は>
 岡部：国3・4・12号線の建設に際して地権者から希望があれば市が代替地を確保すべきだ。
 建設環境部長：駅前なので、まとまった土地のご用意というのは難しい状況。
 岡部：商売をする方にとっては駅から近いとい

うのが重要で、駅から遠い場所では営業を続けられなくなり、お店を畳んで転職するしかなくなってしまう。市はこういったことを黙って見過ごしていいはずはない。
 建設環境部長：決して黙って見過ごすようなことはするつもりもありません。
 <障害者支援(グループホーム)>
 岡部：グループホームの増設計画が目標増となったのは改善された点だが、現実にはそれでもまだ足りない。今後、計画の精査が必要だ。
 福祉部長：更なる支援体制の充実が求められていることを認識している。市内に更にグループホーム整備ができるよう、働きかけていく。

未来に向けた取り組みを推進

自民党新政会

尾作 義明



2020オリンピック・パラリンピックについて

尾) 1964東京オリンピックではハード面、技術面、サービスなど多くのレガシーが生まれた。2020においても新たなレガシーの創出が期待できる。国分寺の取り組みは如何か?
 市) 各課関係をもってスポーツ関係の各種団体との協働により取り組みを進めたい。
 尾) ベトナムのホストタウンとして認定された。今後の取り組みはどのようになるのか?
 市) 既にベトナムのホストタウンとして4つの市、地域が認定されている。今後、それぞれに誘致の活動を強めていき、国分寺市では地理的条件を強みに事前合宿等の誘致を進めたい。

尾) 独自のボランティア等、国分寺市におけるレガシーとなる取り組みを進めてほしい。
 バリアフリー化・電線の地中化について
 尾) 市内では電線の地中化と合わせてバリアフリー化を進めている。市の取り組みは如何か?
 市) 都の補助による緊急輸送道路である幹17号(国立~稲荷神社間)の一部を対象に具体的検討を進めている。(尾) 長い時間の計画となる。しかし、歩行者の安全、防災機能の充実などメリットは大きい。今後のバリアフリー化の基本構想とあわせて、積極的に取り組むべき。
 ペットボトルの回収について
 尾) ペットボトルの拠点回収を始めてから回収

量は約5倍となり、拠点は増設できず、処理能力も限界がきている。現実的な対応として民間事業者による戸別収集に移行するべき。
 野川の護岸整備について
 尾) 東京都が野川の整備計画をたてて国分寺市内の部分が進んでいない現状は如何か?
 市) 昭和61年に今のコンクリート3面張りを行って以降整備は進んでいない。時間当たり50ミリ規模の降雨に対する護岸整備は未着手。(尾) 市内だけが未着手。都に対して継続的に働きかけてほしい。
 その他「国分寺警察署の新設について」「再犯防止について」

医療と介護の連携でさらに在宅介護の限界へ

無会派(無所属)

甲斐 よしと



甲斐) 横須賀市では人生の終末期までも自宅で迎えることを「在宅看取り」と位置づけ取り組んできた経過と結果を説明し、国分寺市も取り組むべきだと求めました。
 福祉部長) 市としてどう取り組んでいくのが重要だと認識は私も同じです。現時点で具体的な話はできないが、市として横須賀市、先進事例を研究しながら在宅介護と医療の連携の仕組みを作ってまいりたい。
 ケアマネが自分の事業所の訪問介護、デイサービスを中心にケアプランを作成しがちで問題！定期巡回・随時対応型訪問介護看護(通称)24時間巡回サービスや小規模多機能サービスの利用

が進んでいない原因と改善の方策をとるべき。
 福祉部長) 要因はケアマネジャーがこれらのサービスを御理解されているのか、望ましい利用者像と一致されていないのかと分析している。今後事業者が集まる各種連絡会やケアマネ・サービス提供事業者と共通認識を高めてゆきたい。
 中学校評価評定の精度と納得度を高めて！
 甲斐) 中3の2学期の評価評定は生徒の将来をも左右する重要なものだ。今日まで御議論させていただき評価評定に生徒、保護者から疑問を問われれば、それに対し説明、根拠を示していただける体制にさせていただいた。今後、評価評定をした先生方が皆で教科を越えて集まり、各

々の評価分布図等を確認しあう場、また特別教科は全市の教育研究会で確認しあえないか。
 教育長) 複数の教員で読み合せ、確認をする事は当然あるが教科の枠を越えた確認のし合いはまだであり、一層の工夫をしてゆこうと考える。
 国立駅北口駐輪場の突然の値上げ告知について
 甲斐) 2年前まで市が一括借り上げをしてきた駐輪場を地権者の民間運営に変更がなされた。8月末に値上げの貼り紙が。市は聞いていたか。
 建設環境部長) 議員の質問通告により、確認の為、面会を求め、会った時に値上げは中止と。
 甲斐) 私の通告で課長が動いてくれて値上げが止まったようだが、事業者と関係を密にすべき。

人口減少社会、未来を見据えた課題解決を

自民党新政会

本橋 たくみ



●市庁舎の建設について 本橋) 新庁舎建設の必要性が高まっている。場所の選定を含めて決断の時期にきていると考えるがどうか。市) 新庁舎の必要性は認識している場所を含め様々な状況を検討判断していく。●待機児童について 本橋) 育児休業の延長に伴い、保育園の保留通知を目的とした入所申し込みが都市部を中心に課題となっており、待機児童の実態を判断するのが難しくなっている。制度的な改善を含め市の方でも対応を考えていただきたいがどうか。市) 課題と認識している。他市と連携しながら対応していく。●スポーツ振興について 本橋) けやき運動場の人工芝化の設計が行われ、バリアフリーの観点など様々な仕様を考慮した

設計をお願いしたいがどうか。市) 様々な仕様を考え来年度の実現に向けて準備していく。●ペットボトルの戸別収集について 本橋) 当市でも戸別収集を導入していく必要があると考えるがどうか。市) 平成32年度の戸別回収開始に向けて取り組んでいく。●シェアサイクルについて 本橋) 観光面や市民の日常の移動などシェアサイクルが世界的にも注目をされ、他市でも導入自治体が増え、市でも導入を検討していく必要があると考えるがどうか。市) 他市との連携を含めて導入を実現したい。●ひかりプラザの新幹線について 本橋) ひかりプラザの新幹線の中を整備して市の観光名所に位置付けていく必要があると考えるがどうか。市) 充

実に向け検討する。

 平成30年8月1日号の「ペットボトルの戸別収集について」の記載は誤りでした。市民の皆様、また関係各位に心よりお詫び申し上げます。

「国分寺市議会だより」平成30年8月1日号において、本橋議員の記事に誤りがございました。心よりお詫び申し上げます。
 誤)「ペットボトルの戸別収集について」は、平成29年第4回定例会での質問事項・答弁の要旨になります。
 国分寺市議会事務局

やり方・仕組みの改革で生産性の高い市政を



自民党新政会 丸山 哲平

しごと改革、立席会議の導入について

丸山) しごとの生産性向上は、単なる掛け声だけでなく具体的にやり方を変えなくては実現出来ない。こうした観点から昨年私より立席会議の導入を提案した。その後取り組みはどうか。行政改革等担当部長) 今年4月より9月末まで試験的に昇降デスクを借用し検証を行なっている。利用者からは、時間の短縮や発言しやすくなった等の回答があり、一定の効果があると考えている。今後さらなる検証のため、設置場所や台数を増やすことや個人用昇降デスクの導入等について調整して参りたい。

職員の健康管理と人事評価について

丸山) 職員が健康に職務に臨む環境整備は本人は当然のこと受益者たる市民のためにも必須と考える。健康診断受診を人事評価の対象とすべきと考えるが、現状どうなっているか。

総務部長) 現状では対象となっていない。もっとも健康管理は仕事をする上での土台と考えており、指摘を受けとめ考えて参りたい。

丸山) 検討を進めて欲しい。いい仕事をする前提として受診は基本動作と考える。民間では適切に健康診断を受けることで人事評価でプラスとする取組みが出てきている。健康管理において先進自治体となることで職員のやる気や熱意をさらに引き出すことにつながると考える。

所得による学力格差問題について

丸山) 所得による学力格差問題が巷間伝えられているが、市では所得と学力の相関関係について客観的なデータ等は把握しているのか。

教育長、福祉部長) 把握していない。

丸山) まず重要なのはデータの把握である。私自身は競争を肯定的に捉えているが、それは競争機会が担保された上での話である。まずは所得階層毎の児童数といった基礎データを把握して頂きたいと考えるがどうか。

福祉部長) 個人情報取り扱い等の課題があり難しい部分もあるが、研究して参りたい。

その他 交通不便地域、ブロック塀等を質問。

西町一丁目とひかりプラザ北の道路について



自民党新政会 尾澤 しゅう

【西町一丁目のボトルネック解消について】

尾澤) 西町一丁目の特別養護老人ホームサンライト北側にある道路上のボトルネック解消に向けて、防衛省や立川市との協議の進捗状況を教えてください。

答弁) 協議を通して防衛省からは当該土地のセットバックに対する一定の理解を得ることができました。今年度中に境界がまたがっている立川市と整備方針をまとめ再度、防衛省と協議していく予定です。整備の時期については、開発行為が行われている隣接地と合わせて供用開始できるようにしていきたい。

【ひかりプラザ北側道路の舗装について】

尾澤) 当該道路は昭和51年に全面舗装をしてから応急的な対応でしか舗装を行ってきかないため、相当傷んでおり、生活する上でも、ひかりまつりなどの各種イベントを行う上でも支障がある。今後の整備の方針について伺いたい。

答弁) 今年度に測量設計委託を予定しており、来年度には舗装工事ができるように調整を進めていきたい。

【国立駅北口のロータリーについて】

尾澤) 現在の工事終了時期はいつ頃になるのか。

答弁) 工事終了は平成31年1月の予定です。

尾澤) 新しくできた市民サービスコーナーやぶんなびの案内看板を、ロータリーに早期に設置

を求める地域の声があるが、設置予定についてわかっている範囲で教えてください。

答弁) 現在、国立駅周辺地区の案内板というものを設置する予定です。そこにはくにたち・こくぶんじ市民プラザやひかりプラザ、鉄道総研等についても掲載予定とのことです。

【MICEの誘致について】

尾澤) MICEとは多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称です。今後、市民税以外の財源確保のために、中小規模MICE等を誘致するような政策を行っていく必要がある。

答弁) 観光協会、商工会とどのように連携できるか研究して参りたい。

災害から市民を守る為に出来る事を



自民党新政会 田中 政義

はじめに) 9月6日に発生した北海道の大きな地震、また7月に西日本地方を襲った、過去に例のない甚大な被害をもたらした豪雨により亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈りするとともに、今なお避難生活を余儀なくされている方々に心からお見舞い申し上げます。

まさに災害大国日本と言われるとおり、異常気象に伴って全国様々な地域で災害が発生しており、国分寺市も決して例外ではないと思います。想定以上の被害が発生するという事を十分に意識して万全の対応を図って頂きたく、国分寺市の防災について質問しました。

1. 総合防災訓練について

問) 毎年様々な訓練項目を導入し、その時々合った内容で実施されているが、今年度新たに取り入れたもの、またその成果はどうだったか。

総務部長) 国分寺消防署、東京消防庁の協力によりVR防災体験車による仮想現実の体験、またNPO法人によるドローン空撮映像の中継を行った。体育館では避難所体験コーナーを設け、在宅避難と避難所生活の差異、公民館との連携など市民が様々な体験をすることで防災意識の向上が図られたと考えている。今後も内容を精査し、市民の防災に対する意識と知識の向上が図られる訓練を検討していく。

2. 水防対策について

問) 現在、大雨洪水警報などが発令された場合、市内の地域への対応はどうなっているか。

総務部長) 建設環境部が市内を4つのエリアに分けて監視・警戒活動を行うほか、まちづくり部が土砂災害警戒区域や危険個所の巡視に当たる。さらに、消防団の各分団も管轄区域の警戒・監視に当たっている。

田中) 市民の安全を守ることは職員の責務であると考えている。今後も庁内連携をしっかりと図って職務に邁進して頂きたい。私も議員として消防団員として共に全力で活動していく所存である。

地域特性に応じた全市域的まちの魅力発信を



無党派 木村 徳

木村) 市東部は国分寺駅前再開発や、宇宙開発発祥の地として盛り上げているが、西部も新幹線を活用しての地域おこしをすべきだ。そこでひかりプラザ敷地にある新幹線資料館の更なる保存・活用を行うべきだが、例規上の位置づけがなく、まずは例規整備をすべきだ。

教育部長) 指摘の通り曖昧な状況だ。速やかに整理する。

木村) ひかりプラザにある新幹線車両は951系という試験車両であるが、現存する世界最古の高速鉄道試験車両であり、文化財的価値も高く文化財指定も検討すべきだ。保存のための屋根の設置等に関しては、クラウドファンディン

グを活用して財源を集めてはどうか。また、来年3月で50周年を迎え、イベント等の企画もすべきだ。

教育部長) 文化財保護審の意見を聞きながら進める。クラウドファンディングも考えていきたい。また50年イベントについても何らかの企画を考えていきたい。

木村) 新公会計制度について、その核は財政の見える化であり、1年前に事業別で財務種類を整えて提示をすべきとの指摘をしたものの、29年度決算においてはそこまでは至っていない。

政策部長) お話の通り、年度ごとの財務諸表を議会に提示して議論いただくべきであると考え

ているが実現に向け鋭意取り組んでいる。

木村) 来年度の決算審査では最大限提示できるよう強く求める。

木村) 職員の勤務時間中にスマートフォンの使用があるが、多くの場合は市のシステムの関係でパソコン動作が大変遅いために、スムーズな職務遂行の為に使用しているようだが、市民が見た場合私的使用と区別がつかない。明確なガイドラインの制定を。また一部は私的使用も実際に存在する。

総務部長) 市民に誤解されるケースもあるのでルール化を図る。私的利用は原則禁止であり徹底していく。

一般会計決算議案に対する討論の要旨

10月1日の本会議で平成29年度一般会計決算議案に対する表決に先立ち、各会派等から賛成・反対の討論が行われました。内容は、各会派等が一定のスペース内で自由にまとめたものを討論が行われた順番に掲載しています。

引き続きの健全財政、 不断の改革を求める



自民党新国会
(賛成8名) 丸山 哲平

平成29年度は国分寺駅北口再開発ビルが完成、また井澤市政2期目がスタートした節目の年であり本決算はその検証を行うものである。

監査委員意見書において一部不備が指摘された。指摘事項については検証と再発防止を求めるが全体として事務執行の適正化はさらに進展し、議会の指摘も適切に対応していると評価。

今回決算では健全な財政運営を志向する一方、財政硬直化が徐々に進行していることが明らかとなった。経常経費増加により経常収支比率は前年度92.9%より94.6%と悪化、硬直化の傾向を示している。経費増加の理由は保育所委託費等の市民生活・ニーズより必須のものであり、当然且つ適切に支

出されたものであるが、硬直化が進行する状況下ではこれまで以上にメリハリの効いた財政運営が必要と考える。

また、ふるさと納税による約2億1千万円の流出や基準財政需要額算定の厳格化等、当市を取り巻く外部環境も厳しいものとなっている。これまでの井澤市政の収支均衡志向の財政運営を改めて評価すると共にその継続を求める。

一般会計に関わる基金については北口再開発に係る繰入金もあり約113億円となった。しかしこれで財政に余裕ありと考えるのは早計である。フローの面では将来的に赤字の状況も想定し得る。職員一人一人がコスト意識を持ち、中長期の視点で職務に臨むことを強く求める。

今後も経常的な経費の増加や新庁舎・リサイクルセンター、公共施設対策等、歳出面で大きな課題がある。これまで仕事の結果で応え、そして市民から多くの期待を寄せられている井澤市政に対し、さらなる質的向上を期待する。

業務・体制を検証し、 市民本位の市政を



国分寺政策市民フォーラム
(賛成1名・反対3名) 星 いつろう

☆財政について

市税の半分を占める「個人市民税」は、リーマンショック前まで水準を回復できていない。その要因は、市民の収入減少にある。働く人たちの賃金底上げ⇒安定した税収の確保⇒暮らしへの投資。未来を切り拓くために、この経済サイクルを意識した取り組みを実施すべき。

国から委託された事務であるのに、国からの財源措置のない事業が散見される。自治体への負担の押し付けである。引き続き、市長会を通じて財源措置を国に求めていただきたい。

☆事業について

待機児童対策の「量の拡大」と同時に、行政と保育所が連携を密

にしながら、「保育の質」の向上に努めていただきたい。そのための保育所定期監査の回数と内容の拡充に期待する。

☆業務・職員体制について

必要な嘱託職員（非正規雇用）を確保できていない部署があることが明らかになった。政府の「3%引上げ要請」が、賃金を考える目安のひとつとなっているなかで、嘱託職員の賃金伸び率は0.1%にとどまっている。適切な市民サービスの提供のために、嘱託職員の確保と人材育成につながる賃金水準の検討を強く求める。

2017年度内に支払うべきものを失念により年度を超えて支払った事柄に対して監査委員から指摘を受けている。適切な事務執行を強く要請する。同時に、職場環境や職員体制のあり方など幅広い視点からの分析・検証を求める。

☆その他

会派内には「課題はあるが、総合的に考え不認定にはあたらない」との意見もある。

着実な財政の健全化と 事業の前進を評価



公明党(賛成4名) 高橋 りょう子

【財政運営全般について】

平成29年度は「国分寺市総合ビジョン」を掲げスタートした初年度であった。36施策の方針指標の達成率を示し課題を明確にして着実に取り組んだ結果、地方債残高の減少と基金の積み立てによる増加がなされた点を評価する。一方で経常収支比率は少し後退し将来に亘る財政負担額が増加した点は留意が必要と考える。債務負担行為の設定段階で抑制に向けた慎重な検討や財政健全化への緊張感を持った更なる業務の効率化、経常経費抑制への取り組みを求める。

【基金積み立ての重要性について】

分散化による不便の解消等市民要望が高い庁舎建設は、職員の会議出席の為の移動時間やコスト削減の点からも早期着手への判断が求められ「庁舎建設資金積立基金」の積み増しが重要と考える。今後少子高齢化対策、公共施設マネジメント、突発的な自然災害対応等緊急的に柔軟に対応する財政状況を保っておかねばならない。財政調整基金や公共施設整備基金も含め着実な基金積み立てへの努力を引き続き求める。

【予算編成について】
ゼロベース部局積み上げ方式で編成して来たが執行率の低いものが見受けられる。昨年同様で良いとの形骸化はないか確認し来年への検討を。

【個別事業評価】
観光案内掲示板クラウドファンディングの活用。対外的なイメージ戦略オープンデータの試行公開。待機児解消の民設民営保育所誘致等定員増への努力。災害時避難所となる市内全小学校の洋式トイレ改修工事の実現等、多くの課題事務事業が前進し改善できた事を評価し賛成とする。

多様な市民ニーズに対応できる財政運営を



国分寺・生活者ネットワーク
(賛成3名) 岩永 康代

平成29年度一般会計の決算額は、国分寺駅北口再開発ビル完成に伴う保留床処分金約135億円から必要諸経費精算後の約75億円の繰入等により過去最大の約500億円となった。歳入全体を見ると、税連動交付金が増額になる一方で、市税は人口増加にも関わらず当初予算見込みより2,843万円減額、前年度比でも706万円の減額となった。ふるさと納税による市税流出額は約2億1千万円となり市税収入に影響を与えている。一般会計の合計基金残高は前年度末残高より約69億円増の約113億円となった。内訳としては財政調整基金約53億円、庁舎建設基金約40億円、公共施設整備基金約14億円等である。今後は庁舎建設をはじめ、リ

サイクルセンターの建設や公共施設マネジメント、下水道の更新等、多額の経費がかかる事業が予定されているため、目的別に計画的な基金の積み立てを求める。地方債未償還額は全会計で約306億円と前年度末残高より約73億円減少した。財政状況は一定改善している一方で、経常収支比率は2年間連続で上昇し94.6%と財政の硬直化が進んでいる。多様化する市民ニーズや新たな地域課題に迅速に対応できるよう、弾力性のある財政運営が必要。国分寺市では子どもの人数が増えている。子育て・子育てを応援するためにも、保育所や学童保育所の整備や質の確保、学校教室の増築等、喫緊の課題への対応が必須であり、子育てを孤立化させない施策には、特に優先的に予算を充てる必要がある。また、団塊の世代が75歳以上になる2025年問題も見据え、優先順位をつけて、必要な施策に必要な予算をつけていくべき。将来世代に負担を先送りしない財政運営を求める。

市民の暮らしを支える 市政こそ自治体の本旨



無党派(日本共産党国分寺市議団)
(反対2名) 中山 こう

＜市民の暮らしを支える施策の拡充を＞

子育て分野では認可保育所の整備は続けているものの、学童保育所の整備は不足している。

また、高齢者福祉分野では、歳出の抑制を図ろうとする井澤市長の姿勢がある。抜本的な子育て支

援の拡充と市長の姿勢を転換し、住民福祉の向上を本旨とする自治体の役割を果たすためにも、市民施策の拡充を求める。

＜国保税の値上げは必要ない＞

特に、来年度から値上げを検討している国民健康保険税について、2017年度の国保会計は約5億2千万円の黒字であり、これを活用すれば国保税を値上げする必要はない。「低所得ほど滞納率が高い」など、国保加入世帯の厳しい生活実態が明らかになった。これ以上負担を押し付けるべきではない。

保留床売却150億は 立て替えが戻ってきた金



無党派(無所属)
(賛成1名) 甲斐 よしと

北口再開発で市の保留床売却は最低価格97億に対し150億の応募があ

り手付を引いた135億が歳入、これを臨時収入と言う方もいるが大きな間違いだ。平成元年から81億かけた先行買収地は権利変換価格で15億の評価。53億多い応募でも、先行払い額から13億減で戻せたに過ぎない。福祉を始め、お金が無いと我慢を強いてきた。将来これを公共事業の原資にすべきでない。

子育て・教育等、身近な まちづくりに重点を



無党派(ここに幸あれ)
(反対1名) 幸野 おさむ

人口増の折、市が「財政難」を強調し、子育て・教育・福祉等の必

要な予算を抑制している結果、対応が遅れ、不十分になっている。29年度決算は、前年度に比較して積立金は約60億円増加し約118億円に、地方債は約73億円減少し約306億円となり、財政状況は著しく改善している。新庁舎建設やリサイクルセンター整備等の大型事業こそ抑制し、身近なまちづくりを。

平成30年第4回定例会は、11月29日（木）から開催の予定です。議会はどなたでも傍聴できます。ぜひ傍聴にお越しください。
※本会議は市役所第1庁舎3階議場で、委員会は同委員会室で、午前9時30分から開始予定です。

第3回定例会議案審議結果

第3回定例会には新規31件(市長提出30件)の議案が提出され、同意6件、可決17件、認定8件となりました。

Table with 5 columns: 議案番号, 議案名, 議案の要旨, 付託先委員会, 結果. It lists 100 items of proposals and their outcomes.

・国分寺駅=国分寺駅周辺整備特別、補正予算=補正予算審査特別、決算=決算特別、--=本会議即決

議案に対する議員の表決状況(賛否の分かれたもの)

Table showing voting status for specific proposals across different political parties and members. Columns include party names and member names.

・表決 (○=賛成 ●=反対 退=退席)
・会派名 (フォーラム=国分寺政策市民フォーラム、ネット=国分寺・生活者ネットワーク、共産党=無会派(日本共産党国分寺市議団)、幸=無会派(ここに幸あれ)、(無)=無会派(無所属)、無=無会派)